

I 令和4年度 事業報告


長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、経済的困窮、雇用の不安定等の課題が増大し、子育てや介護、高齢者のフレイル悪化への影響等、社会的孤立をはじめとする地域生活課題の複雑化・多様化の進行が懸念されています。


こうした状況に対し、神戸市社会福祉協議会では区社会福祉協議会と一体となり「“こうべ”の社会福祉協議会 地域福祉推進計画2025」を策定し、国が進める「我が事、丸ごと」をキーワードとした「地域共生社会の進展」と、国際的に進められている「SDGs=誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を推進しているところです。

令和4年度、社会福祉法人神戸市須磨区社会福祉協議会（以下（「本会」という）では、「福祉課題への早期発見・早期対応」「つながりづくりの推進」「福祉のこころを育む機運を醸成する」の3点の主要方針に基づき、関係機関との連携した相談援助や、地域住民が身近な地域で寄り添い支え合う「居場所づくり」の立上げと運営支援、福祉啓発に取り組みました。


また、本会事業の実施にあたっては感染防止対策を徹底し、高齢者等の居場所づくり、地域活動再開に際しての相談支援、感染症予防対策の啓発等を実施しました。

<以下、事業報告内の表示について>

 **新規** 新規事業

 **拡充** 機能や内容を充実した事業

 共同募金配分金を活用

 善意銀行の寄付を活用

1 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監事監査等の開催

会議	開催日 (決議日)	内容
第1回 理事会	令和4年 6月6日(月)	第1号議案 令和3年度 事業報告及び会計決算(案)について 第2号議案 評議員選任・解任委員の補充選任について 第3号議案 評議員選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について 第4号議案 新役員(理事)候補者の評議員会への議案提出について 第5号議案 定時評議員会の招集ならびに提出議案について 第6号議案 市区社協のあり方検討会への理事長の出席について
第2回 理事会	令和4年 6月23日(木) ※書面決議	第1号議案 新役員(理事)の選任候補者の評議員会への提出議案について
第3回 理事会	令和5年 2月1日(水)	第1号議案 令和4年度第2回評議員会について 第2号議案 顧問の委嘱について 第3号議案 評議員補充選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について
第4回 理事会	令和5年 3月27日(月)	第1号議案 副理事長の選定について 第2号議案 令和4年度補正予算(案)について 第3号議案 令和5年度受託契約の締結について 第4号議案 令和5年度役員賠償責任保険契約の締結について 第5号議案 令和5年度事業計画(案)及び会計予算(案)について 第6号議案 評議員会の招集ならびに提出議案について

第1回 評議員会	令和4年 6月27日(月)	第1号議案 令和3年度事業報告及び会計決算について(案) 第2号議案 新役員(理事)の候補者の選任について
第2回 評議員会	令和5年 2月8日(水) ※書面決議	第1号議案 理事の選任について
第3回 評議員会	令和5年 3月27日(月)	第1号議案 令和4年度補正予算(案)について 第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び会計予算(案)について

監事監査	令和4年 5月23日(月)	令和3年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査
------	------------------	--------------------------

第1回 善意銀行 運営委員会	令和4年 6月6日(月)	第1号議案 令和3年度善意銀行預託および払出の状況について
第2回 善意銀行 運営委員会	令和5年 2月1日(水)	第1号議案 令和5年度善意銀行事業計画(案)について 第2号議案 令和5年度善意銀行収支予算(案)について

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

会 議	開 催 日	内 容
第1回 評議員選任・解任委員会	令和4年 6月23日(木)	評議員の選任について
第2回 評議員選任・解任委員会	令和5年 2月1日(水)	評議員の選任について

※ 書面決議による会議の開催日は、構成員の皆さまからの同意が得られた日を記載。

(3) 理事長感謝状の贈呈

各 部 門	個 人	団体・グループ
善意銀行の部	2	6
ボランティア活動の部	1	5

2 地域福祉・地域共生の推進

(1) 地域福祉ネットワーク事業

既存の制度やサービスでは解決が困難な制度の狭間や複合化した福祉課題について、地域の方々や専門機関と共に取り組み、課題の解決に向けたネットワークづくりを推進した。また、面談や電話相談のみならず、Eメールを活用した相談にも応じた。

ア 相談支援実績

- ・新規相談件数 144 件
- ・継続支援件数 299 世帯（延べ世帯数）
- ・区生活支援課くらし支援窓口との連携支援件数 159 件

イ 地域福祉ネットワーク事業報告会

地域福祉ネットワーク事業の取り組み状況について、民生委員・児童委員、主任児童委員などを対象に報告会を開催し、関係機関との更なる連携強化を図った。

- ・開催日 令和5年2月27日（月）
- ・場 所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・内 容 地域福祉ネットワーク事業の概要
地域福祉ネットワーク事業の活動状況（事例報告）
地域づくり支援報告
- ・参加者 49名

ウ ひきこもり支援意見交換会

地域社会全体の課題である、「社会的孤立」をテーマに、民生委員・児童委員、主任児童委員が課題の現状や支援施策を知り、ひきこもりや社会的孤立の課題への支援について、意見交換をしながら資質向上に取り組んだ。自宅でも気軽に受講できるように、オンライン講座を併用して運営を行った。

- ・開催日 毎月1回定例開催（11回）
- ・場 所 須磨区役所2階 201会議室他
- ・内 容 「こども・若者ケアラー（ヤングケアラー）の実情と支援」
神戸市福祉局こども・若者ケアラー支援担当課長
「発達障害について学ぶ」
NPO法人そらしどキャラバン隊
「地域で考える災害時要援護者」
神戸市福祉局くらし支援課災害担当係長 他
- ・参加者 延べ323名（内、オンライン受講24名）

(2) 寄り添いの居場所づくり

拡充

ア こどもの居場所づくり事業の支援

現地確認や情報提供、相談を受ける等支援を行うとともに、前年度より引き続き、「須磨区こどもの居場所づくり立ち上げ応援助成」を実施し、こどもの居場所の立ち上げ及び既存団体の事業拡充を支援した。また、民間企業等と連携し、こどもの居場所等の利用者へ寄贈物品や食料品の配布を行った。

- ・巡回等 67回 ・運営支援 48回
- ・助成申請4団体、助成決定4団体 合計400,000円（立ち上げ助成）

(ア) こどもの居場所づくり講演会・交流会

- ・開催日 令和4年11月18日（金）
- ・場 所 須磨区役所2階 健康教育室1・2・3

- ・内 容 こどもの居場所はなぜ必要か（講演）
- ・講 師 NPO 法人ふおーらいふ
- ・参 加 者 実施団体 16 名、一般参加 30 名、学校・児童館関係者 6 名、行政関係 8 名、

新規

(イ) こどもの居場所のための冷凍庫の運用

事業者等から寄贈された食材の一時保管と提供の調整を行う仕組みを強化するため、令和 5 年 2 月に市内で初めてモデル設置した。

イ つどいの場支援事業

生活支援コーディネーターを中心に、あんしんすこやかセンター等と連携し、高齢者の介護予防や地域での支え合い体制づくりを目的とする「つどいの場」活動の定着に向けての支援を行った。

- ・申請団体 14 団体（運営補助 14 件）

ウ 居場所づくり事業「コスモスのたね」

物づくりや軽作業等の活動を通じて、社会参加や就労が難しい方が、生きがいややりがいを感じ社会性自立のきっかけとなる場を提供することを目的として開催した。

- ・開催日 毎月第 2 木曜日 ※自由参加
- ・場 所 須磨区役所 3 階 地域活動支援コーナー
- ・内 容 エコバック作り、理事会等で渡すお菓子のラッピング作業などの軽作業
- ・参加者数 延べ 30 名

(3) 未来につなぐ福祉のこころを育むために

ア 福祉学習の推進

(ア) 福祉学習に関する情報提供及び福祉教育機材の貸し出し

学校や地域からの福祉学習に関する相談に対して、情報提供や福祉教育用機材の貸し出しを行った。

《備品数・貸出件数》 延べ 51 回

種 類	在庫	貸出	種 類	在庫	貸出
車いす	15 台	14 回	小型点字器	35 台	3 回
高齢者疑似体験セット (S/M/L サイズ)	S4 個	7 回	ゴーグル、プレート	10 個	1 回
	M3 個	8 回	かるたセット	2 個	0 回
	L2 個	5 回	もちつきセット	1 セット	0 回
イヤードیفENDER	10 個	3 回	コミュニケーション麻雀	6 個	1 回
白杖	4 本	5 回	アイマスク	45 枚	4 回

(イ) 夏休み親子手話教室の実施

須磨区内の小学生と保護者を対象に、あいさつや自己紹介等の簡単な手話の習得と聴覚障がい者への理解を深めることを目的に、夏休み親子手話教室を開催した。

- ・開催日 令和 4 年 8 月 21 日（日）
- ・場 所 北須磨文化センター 3 階 大会議室
- ・協 力 須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークル ころこ、神戸女子大学手話部翼
- ・参加者 小学生 30 名 保護者 28 名

(ウ) 親子向け防災プログラムの実施

区内親子サークルや児童館を利用する親子・児童に対し、防災の知識や避難訓練の実施等楽しみながら学ぶ防災教育を行った。

- ・実施日 令和4年8月18日(木)～令和5年2月8日(水)(合計16回)
- ・場所 板宿児童館、たかとり児童館、大黒児童館、高倉台児童館、東須磨児童館、北須磨児童館、菅の台児童館、白川台児童館、妙法寺児童館、神の谷児童館、落合児童館、横尾児童館、若草児童館、松風児童館
- ・参加者 幼児115名、小学生113名、大人123名


(エ) 子どもヘルパー活動の実施・支援

子どもたちが地域活動のお手伝いやボランティア活動について、自ら企画や準備、実施し、地域の中で活躍する中で思いやりや奉仕の心を培うことを目的に実施した。(地域ふれあい交流、乳幼児とのふれあい、共同募金の街頭募金活動等)

- ・実施期間 令和4年4月23日(土)～令和5年3月18日(土)
- ・実施館 高倉台児童館、東須磨児童館、落合児童館、横尾児童館・横尾学童保育コーナー
- ・実施回数 合計29回
- ・場所 各児童館及び児童館周辺地域、施設等
- ・活動人数 延べ385名

(オ) 認知症キッズサポーター養成講座受講後の支援


子どもたちが認知症への理解を深められるプログラムである「認知症キッズサポーター養成講座」について、区内小中学校に対して広報を実施した。

イ 福祉啓発「安心！終活セミナー」実施 

権利擁護や地域福祉活動への区民の理解を広げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的とし、テーマ別の終活セミナーを実施した。

- ・開催日 令和4年11月15日(火)、22日(火)、29日(火)
- ・テーマ 親の相続、老後のお金、家族の問題等
- ・場所 須磨区役所2階 201会議室
- ・講師 一般社団法人くらし支援ネット神戸
- ・参加者 延べ49名

ウ 情報発信・参加機会の充実

(ア) 区社協だより「こすもす」の発行 


区社協の活動紹介や協力団体の活動状況の発信等、写真やイラスト等を活用し、広く区民に親しみのもてる紙面づくりに努め、広報、啓発を行った。

- ・発行回数 1回(令和4年10月1日)
- ・部数 新聞折り込みにより区内全域及び関係団体に配布
57,550部

(イ) 区社協ホームページ等の運営

ホームページの更新を通じて、災害支援募金や各種講座の案内、共同募金の活動報告等、適時更新し迅速な情報発信を行った。また、「Facebook」「ご近所SNS マチマチ」にも区社協ページを開設し、タイムリーに広報活動を行った。

- ・内容 区社協の概要、区社協だより、募集、お知らせ等
- ・更新回数 101回
- ・アドレス <https://www.suma-shakyo.or.jp/>

(ウ) 地域団体広報活動支援 

地域活動やボランティア活動に取り組む団体の支援を目的に印刷機の貸出を行った。

- ・貸出件数 122 件

(エ) マスコットキャラクターの活用

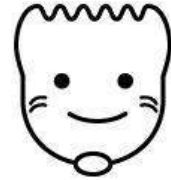
須磨区社協マスコットキャラクター「こすもちゃん」を、広報時にイラストとして積極的に活用した。



▲ 区社協ホームページ
(<https://www.suma-shakyo.or.jp/>)




▲ 区社協 Facebook ページ




須磨区社協マスコットキャラクター
「こすもちゃん」

(4) 地域福祉活動の支援のために

ア ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員と協力して、訪問等により安否確認を行っている友愛訪問グループに対して、活動の支援を行った。

- ・グループ数 120 グループ (ボランティア 602 名)
- ・対象高齢者数 1,559 名
- ・安否確認回数 延べ 175,091 回

イ ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等を対象に閉じこもり防止やコミュニティへの参加を目的に実施している区内のふれあい給食会の活動支援を行った。また、実施団体同士のつながりづくりや運営支援を目的とした研修を実施した。

(ア) 区内ふれあい給食会の活動状況

- ・グループ数 31 グループ (ボランティア 553 名)
- ・対象高齢者数 1,022 名
- ・開催回数 373 回

(イ) 「令和 4 年度 須磨区内ふれあい給食会 衛生管理研修(対面×オンライン)」

- ・開催日 令和 5 年 1 月 23 日 (月)
- ・場所 須磨区役所 2 階 健康教育室、神の谷地域福祉センター、北須磨地域福祉センター
- ・参加者 40 名(ふれあい給食会 20 グループ)

ウ “コロナ禍” 特別緊急支援事業

コロナ禍の影響を受けて支援が必要な高齢者の居場所等のグループへ活動応援グッズを配布することで、活動費の負担を軽減し、活動継続を支援した。

- ・申請：39 グループ
- ・内容：使い捨て食器、ペーパータオル、アルコール消毒液

エ 「地域福祉の担い手育成支援」を目指した活動の展開

コミュニティビジネスの手法を活用して、自分のキャリアやスキルを活かした地域の課題解決や、活動者自身の生きがいの創出や新たな活動者の発掘育成を目的に、「すまコミュニティビジネス大学」を開催した。修了生がファシリテーターとなり受講生のサポートと共につながりづくりの機会をつくった。

(ア) すまコミュニティビジネス大学

- ・開催日 令和4年9月14日(水)～令和5年2月8日(水) (全11回)
- ・場所 須磨区役所4階 403会議室他/オンライン講座同時開催
- ・講師 畠 健太郎氏 (プリズムデザインラボ代表)
- ・参加者 18名 (延べ166名)

(イ) 受講生によるビジネス企画公開プレゼンテーション

- ・開催日 令和5年2月8日(水)
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・参加者 45名

(ウ) すまコミュニティビジネス大学修了生交流事業「すまコミ長屋」立ち上げ

- ・開催日 令和4年5月～令和5年3月
- ・場所 須磨区役所3階 地域活動支援コーナー 他
- ・参加者 延べ43名

オ 公募助成事業「こすもスマイル助成」による居場所づくり支援

須磨区内の地域団体やボランティア等が取り組む「居場所づくり」事業等を支援するために、赤い羽根共同募金と善意銀行を財源として、外部委員の審査による公募助成事業を行った。

- ・申請団体 8団体
- ・助成決定 8団体 (8事業) 合計 557,000円

《内訳》

備品費助成 3事業 160,000円/運営費助成 8事業 397,000円

拡充 カ 須磨区居場所づくりおたすけ助成の実施

ポストコロナ時代を見据えた地域福祉活動の推進を目的に、赤い羽根共同募金を財源として、地域住民が主体的に取り組む子ども、高齢者、障がい者、その他支援を必要とする者の「居場所づくり」を支援するための助成を行った。

- ・申請団体 3団体
- ・助成決定 3団体 合計 90,000円 (1団体あたり 30,000円)

(5) 認知症の人にやさしいまちづくりの推進

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域住民が認知症への理解を深めるための啓発及び支援を行った。

- ・認知症キッズサポーター養成講座受講後の支援【再掲】

3 高齢者福祉の推進

(1) 大規模公営住宅地域見守り体制の強化

「見守り支援員」を1名配置し、高齢化が進み福祉ニーズが特に高い大規模公営住宅地域の地域見守り体制を強化した。

ア 民生委員児童委員の欠員地区の負担軽減

欠員地区を担当する地区民児協会長等の負担を軽減するため、見守り支援員が高齢者等の定期訪問を行い、小地域連絡会へ参加する等、地区民児協と連携しながら見守り活動を行った。

(ア) 欠員地区での見守り活動 (2地区、見守り対象高齢者43名、安否確認回数490回(内、対面450回))

(イ) 連絡会等への参加 (3地区、10回)

イ あんしんすこやかルーム閉鎖後の高齢者の居場所への支援

令和2年度末に事業終了となった大規模公営住宅に高齢者の自立支援拠点として設置された区内5か所のあんしんすこやかルームの代替機能として、地域住民が主体となる高齢者の居場所の運営を支援した。また、ルームがあった地区に限らず、区内の高齢者の居場所の状況把握、支援を行った。(21地区、状況把握71件、関係機関との連携等8件)

(2) あんしんすこやかセンターと連携した支え合い活動の推進

高齢者が住みなれた地域で、安心して生きがいのある生活ができるよう、関係団体と協働し、地域で互いに支え合える見守り体制の仕組みづくりを推進した。

ア 地域支え合い推進員との連携

区内8か所のあんしんすこやかセンターに配置された地域支え合い推進員と連携し、見守り希望者や地域の方からの相談・通報への対応や、見守りが手薄な地域への暫定的な訪問活動、高齢者生活情報等の提供、介護予防の推進やコミュニティづくり支援等の地域支え合い活動の支援を行った。

(ア) 小地域連絡会見守りネットワーク事業の開催

a. 民生委員児童委員協議会を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行う地域見守り連絡会に参画した。

(開催回数114回)

b. 地域見守り活動の一層の推進を目的とし、各あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員が中心となり、民生委員・児童委員、友愛訪問ボランティア、区社協等の地域活動者及び団体が参加する見守りネットワーク会議の開催を支援した。

(開催回数27回)

(イ) 情報紙「赤灯台」の発行 (発行回数4回)

地域支え合い推進員が主体となり、地域住民が地域活動に参加できるきっかけの一つとして、「高齢者の居場所」の紹介、認知症予防のための脳トレクイズを取り入れた情報紙「赤灯台」を発行した。

(ウ) 『すまっぷコスモス 大学生×シニア世代 ～地域のつどい場交流会～』の開催

運営者の高齢化や担い手不足が原因で、「高齢者の居場所」が縮小や休止となる状況があり、その解消に向け、多世代交流の新たな居場所づくりを目的に開催した。

a. 本 区

- ・開 催 日 令和5年11月15日（火）
- ・場 所 須磨区役所2階 健康教育室

b. 支 所

- ・開 催 日 令和5年11月25日（金）
- ・場 所 須磨パティオ健康館

(3) 生活支援体制整備事業「実務者会（協議体機能を有する会議）」の開催

地域見守り活動推進事業の一環として協力事業者（郵便局）による高齢者見守り事業の理解や実践がスムーズに行えるよう、あんしんすこやかセンターと協力事業者との「顔の見える体制づくり」を行うとともに、互いの意識を高め合う観点から意見交換会を開催した。

- ・開催日 令和4年9月27日（火）
- ・場 所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・参加者 30名（郵便局9名、あんしんすこやかセンター8名、区担当課・実習生13名）

(4) 高齢者見守り調査の実施

民生委員・児童委員の協力により、訪問調査を行い、過去1年間に新たに「70歳以上の単身高齢者」または、「75歳以上の高齢者のみの世帯」、以前の調査において見守り不要と返信していた75歳以上の単身高齢者等のうち、日頃の見守りが必要な高齢者の状況を把握した。

(5) テレホンサポートの実施

ボランティア(テレホンサポーター)が週1回、区内のひとりぐらし高齢者（希望者）宅に安否確認を兼ねて電話をかけ、話し相手や相談等を行った。

- ・実施日数 97日
- ・ボランティア数 12名
- ・利用者 24名
- ・通話回数 1,138回

4 障がい者福祉の推進

(1) 須磨区自立支援協議会との連携

地域で生活する障がい者のくらしを支える取り組みとして、須磨区自立支援協議会が開催する各部会に参画し、連携、協力を行った。

ア まなぼー!!部会

障がいがある方の地域生活をサポートできるよう支援者の資質向上を目指した。精神障がいを抱える方の理解を深めるための勉強会を行い、ケアマネジャーや民生委員も参加し、支援者の資質向上と障害への啓発活動も行った。

イ ともいき部会

「ともに生きる」という理念のもと、「災害時要援護者支援」や「権利擁護」の課題に取り組んだ。要援護者支援では、「わたしの避難カード」を作成し、避難行動の確認を行った。また、障害者虐待の基礎を学び、特に虐待の未然防止に視点を向けるきっかけとなった。

ウ 親子部会

発達の気になる子どもと保護者の支援と交流を目的に活動し、当事者とその家族のための情報冊子「すまっこナビ」をもとに、情報提供・啓発活動を行った。

エ すまいんど部会

障がい福祉サービス事業所の自主製品の質の向上と販路の拡大を目指し、啓発活動・情報提供を行った。また、商品販売を通じて地域とのつながりづくりを検討した。

(2) 福祉施設等と連携した活動支援

区内施設と地域住民との交流活動を赤い羽根共同募金配分事業により支援した。

(3) 手話入門講座の開催

須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークルこころと連携し、挨拶や自己紹介等の簡単な日常会話ができる程度の手話技術を学ぶことで、区民が聴覚障がい者への理解を深め、将来的に手話ボランティアとして活動していくために必要な知識を得ることを目的に開催した。

- ・開催日 令和4年4月14日(木)～令和4年9月8日(木) (全20回)
- ・場所 大黒地域福祉センター
- ・参加者 9名(修了者数7名)

5 児童福祉の推進

(1) 児童館の管理運営

ア 児童館7館、および3か所の学童保育コーナーの管理運営<市社協運営分>
 <<令和4年度 児童館利用状況>> (単位：人)

児童館名	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	放課後児童クラブ 在籍者数 (令和4年4月)	運営 委員会
板宿	14,744	51	62	6月21日(火)
妙法寺	14,228	50	82	6月17日(金)
高倉台	12,275	43	59	6月29日(水)
落合	16,421	57	50	7月5日(火)
南落合学童保育コーナー	※13,131	※45	※82	
東落合学童保育コーナー	※10,999	※38	※65	
横尾	17,779	62	95	6月15日(水)
横尾学童保育コーナー	※9,390	※32	※64	
東須磨	16,997	61	88	7月13日(水)
若草	12,562	45	65	7月1日(金)
合計	105,006 ※33,520	平均52 ※平均38	501 ※211	

※：学童保育コーナー人数(外数)

イ 神戸市放課後子ども総合プラン事業「放課後こどもひろば」(横尾小学校 のびのびひろば)の運営
 ・年間利用者数 6,699名 (1日平均利用者数33名)

(2) 児童館・学童保育コーナー・放課後のびのびひろばの管理運営及び運営支援

ア 児童館巡回相談・支援 職員研修の実施

市社協運営児童館・学童保育コーナーに加え、社会福祉法人及びNPO法人等が運営する以下の7児童館及び4学童保育コーナー、1分館を対象として、巡回相談や職員研修を実施した。

- ・神の谷児童館 (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・北須磨児童館 (運営：社会福祉法人 北須磨保育センター)
- ・松風児童館 (運営：社会福祉法人 豊友会)
- ・白川台児童館 (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・菅の台児童館 (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・たかとり児童館 (運営：社会福祉法人 神戸YMCA 福祉会)
- ・大黒児童館 (運営：株式会社 セリオ)
- ・西落合学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・松尾学童保育コーナー (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・竜が台学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・だいち学童保育コーナー (運営：株式会社 セリオ)
- ・松風児童館分館 (運営：社会福祉法人 豊友会)

イ 拠点児童館事業の支援(落合児童館)

地域の子育て支援の拠点児童館として、以下の専門講座を実施した。実施にあたっては、神戸市総合児童センターの養成講座を受講した子育てシニアサポーター(ボランティア)との連携を行った。

(ア)子育て専門講座

a. 赤ちゃんとのふれあい講座 (4回連続講座・年2回)

・参加者 4か月～6か月の乳幼児親子 16組

b. 学齢期・思春期子育て講座

・参加者 4歳～小学生の子どもの保護者 6名

(イ)指導者向け講座

保育現場で活かす感覚運動遊び

・参加者 児童館、保育所・園、放課後デイサービス等職員 8名

(ウ)Jidoukan-café(ジェイカフェ)

発達がゆっくりな乳幼児とその保護者が、気兼ねなく遊び、日頃の育児の不安や悩みを共有できる居場所を提供した。

・実施回数 41回

・参加者 親子 36組 (延べ278名)

行事「とんで!はずんで!たのしいスポーツ」

・講師 神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター

・参加人数 こども15名、大人14名

(エ)区の特性に基づく事業

a. 高学年地域ボランティア (落合児童館子どもヘルパー)

こども会議を開催し、児童館行事や地域行事などに主体的に関わり役割分担など、子ども自らが企画して実施した。

・参加者 (実人数) 9名 (延べ184名)

・対象者 小学校 4～6年生 (2校)

b. おちあいファミリーひろば

就労などで平日児童館に来られない保護者にも参加しやすい土曜日に乳幼児と保護者のふれあいの場を提供した。また、子育て中の保護者同士の仲間づくりにつながるようなプログラムを実施した。

・実施回数 3回

・参加者 延べ220名

c. 子どものおべんとうひろば


保護者が就労等により自宅不在で放課後児童クラブを利用していない小学生に対し、子育てシニアサポーターの協力のもと、居場所を提供した。

・実施回数 64回

・参加者 延べ208名

・子育てシニアサポーター 延べ59名

(オ)子育てシニアサポーターの活動支援 登録者数27名

ウ 児童館事業への支援 (子どもの遊びプログラム派遣事業) 

乳幼児親子や小学生が楽しめる手遊び等のプログラムを提供した。

・開催日 令和4年6月10日～令和5年2月10日

・回数 14回

・参加者 331名 (全児童館)

(3) 児童館合同行事の開催

ア 高齢者との交流事業の実施

子どもたちが作成した手紙やプレゼントを、地域の高齢者に届けることで、地域での世代間交流をはかった。

- ・実施期間 令和4年4月～令和5年3月（合計24回）
- ・参加者 乳幼児16名、小学生402名、
大人399名（内、高齢者355名）

イ 須磨区児童館パネル展示

児童館の紹介などのパネル展示を通して、区民へのPRを行った。

- ・開催日 令和4年10月1日～令和5年3月31日 ※継続中
- ・場所 須磨区役所2階 こども家庭支援課 壁面（親子ふらっとひろば横）

(4) 子ども子育てサポート事業（地域の子育て支援）

地域における子どもの見守りとともに児童健全育成を目的とした行事や、親子のコミュニケーション促進と子育て力の向上を目的とした行事等を実施した。また、児童館職員や子育てコーディネーターを地域の関係機関・団体に派遣し、子育てのコミュニティづくりを推進した。

ア 子育てコミュニティ育成事業

地域における子育てコミュニティづくりを目的に実施した。

児童館名	回数	主 な 内 容
板 宿	3	ゲーム大会、凧制作と凧揚げ、ポッチャ大会
妙 法 寺	5	新緑のお茶会、なつまつり 2022、秋のお茶会、年末おたのしみ会、親子で写真立て作り
高 倉 台	8	運営委員会（年2回）、七夕イベント、なつまつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会、節分行事&立春の集い、梅見の会
落 合	10	第1～7回推進委員会、なつまつり、落合っ子フェスタ、シャボン玉ショー&自然工作、お手玉あそび、防災訓練
横 尾	3	夏のお楽しみ会、ハロウィンミッション、クリスマス会
東 須 磨	5	映画会、ラジオ体操・交通安全教室、ファミリー運動会、東須磨マラソン大会、バレーボール親子大会
若 草	6	にちようなかよしひろば（中止）、レッツプレイバスケットボール（中止）、科学遊び、もうすぐ若草小1年生、しめなわづくり、凧をつくってたこあげしよう
合 計	40	（参加者 延べ2,733名）

イ 須磨区子育て支援ネットワーク会議、地域連絡会への参加

- ・参加回数 39回（18地域） ※感染拡大で出席者が少数のため中止の地域あり

ウ 須磨区出前親子館の実施

近隣に児童館のない地域で児童館職員等が講師となり親子ふれあいあそびを実施した。

- ・実施日 ①令和4年10月5日（水） ②令和4年11月2日（水）
③令和5年1月10日（火）・2月14日（火）
- ・場 所 ①離宮前町公園 ②須磨ノ浦地域福祉センター
③南落合地域福祉センター
- ・参加者 乳幼児29名、大人25名、ボランティアスタッフ15名

エ 児童館リサイクル活動への支援

保護者から子ども用品のリサイクルの希望の声を受け、児童館にて交換会を実施した。物品を提供する側とされる側の保護者が子ども用品を通して交流が深まり、つながるきっかけとなった。

- ・実施日 令和4年6月21日(火)～令和5年2月24日(金)
(合計16回)
- ・場 所 板宿児童館、たかとり児童館、高倉台児童館、白川台児童館、北須磨児童館、落合児童館、若草児童館
- ・参加者 幼児177名、小学生72名、大人283名、ボランティア14名

オ マッサージインスクールの開催

国際インファントマッサージ協会 公認インストラクターによる親子向けの教室を開催した。

- ・開催日 令和4年10月6日～12月11日(合計6回)
- ・開催場所 高倉台児童館、東須磨児童館
- ・参加者 小学生110名、大人38名

新規 カ おしゃべりほっとタイムの実施

助産師の進行で、乳幼児の保護者同士がお喋りをしながら子育てについて話し、助産師の助言を受けたり共有したりすることで、産後うつや児童虐待の防止に繋げることを目的に実施した。

- ・実施期間 令和4年10月11日(火)～令和4年12月5日(月)
- ・実施館 板宿児童館、高倉台児童館、東須磨児童館、妙法寺児童館、落合児童館、横尾児童館、若草児童館
- ・実施回数 合計7回
- ・場 所 各児童館
- ・参加者 幼児52名、大人46名

キ 親子向け防災プログラムの実施(再掲)

ク 子どもヘルパー活動の実施・支援(再掲)

6 ボランティアセンターの運営

「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぐ中間支援組織として、人と人が支え合う仕組みづくりを構築し、地域活動の推進を行った。

(1) 登録・紹介

- ・登録者数 個人 319 名 / 団体 256 団体 (8,459 名)
- ・依頼件数 86 件 (紹介数 76 件)
- ・その他相談、情報提供 918 件

(2) 地域ボランティア活動助成事業及び県民ボランタリー活動助成の受付事務

ボランティア活動を推進するため、ひょうごボランタリー基金県民ボランタリー活動助成と神戸市社会福祉協議会ボランティア活動費助成の申請支援および受付を行った。

- ・ひょうごボランタリー基金県民ボランタリー活動助成申請受付 39 件
- ・神戸市社会福祉協議会ボランティア活動助成申請受付 10 件

(3) 須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局運営

センター登録のボランティアグループ代表者の有志が集まり結成している須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局として、連絡会の開催や所属団体の活動支援を行った。

- ・開催回数 12 回 (第 1 水曜日開催・地域活動支援コーナー他)
- ・参加団体 11 団体

(4) ボランティア共済及び行幸用保険の受付・請求

- ・受付件数 615 件
- ・請求件数 11 件

(5) ボランティア講座等の実施

ア ちょこっとボランティア体験講座 (NPO 法人・ボランティア団体編)

ボランティアは難しいものではなく、そばに寄り添うだけ、見守るだけ等普段の何気ない行動もボランティアになることを知ってもらい、新たな活動者の育成を目的に講座を開催した。

- ・開催日 令和 4 年 7 月 19 日 (火)・7 月 26 日 (火)・8 月 1 日 (月)
- ・内容 1 日目：各活動先の説明・受講生による活動先の選定
2 日目：活動先でのボランティア体験
3 日目：振り返り・今後の活動について
- ・講師 NPO 法人神戸西助け合いネットワーク 理事長 在里 俊一氏
NPO 法人ゆいまーる神戸 代表 石井 明美氏
阪神高齢者・障がい者支援ネットワーク 代表 宇都 幸子氏
- ・場所 1 日目：須磨区役所 2 階 健康教育室
2 日目：NPO 法人神戸西助け合いネットワーク
：NPO 法人ゆいまーる神戸
：阪神高齢者・障がい者支援ネットワーク
3 日目：須磨区役所 2 階 健康教育室
- ・参加者 延べ 22 名

イ スクールボランティアスキルアップ講座

発達障がいのある児童の支援等に携わる方が、子どもたちの世界に入ってみる疑似体験することで、障がいを理解し、支援への一助となることを目的に講座を開催した。

- ・開催日 令和4年8月22日（月）
- ・内容 発達障がいの体験、体験講師を中心とした困りごと、お悩み相談
- ・講師 NPO 法人そらしど
- ・場所 須磨区文化センター
- ・参加者 9名

ウ 「KOBE シニア元気ポイント」制度運営協力

高齢者の外出の機会の増加や社会参加の促進を図ることを目的として神戸市が実施する「KOBE シニア元気ポイント」制度の説明会にて、ボランティア活動についての説明や相談受付を行った。

- ・開催期間 令和4年4月～令和5年3月（計8回）
- ・場所 須磨区文化センター・北須磨文化センター
- ・参加者 延べ52名

エ ボランティア入門カフェ講座

ボランティアに興味のある方へのボランティア活動に対する関心・理解・参加を促すため、受講者が参加しやすいカフェ形式での入門講座を定期開催した。

- ・開催日 毎月第2木曜日（※予約制）（計3回開催）
- ・場所 須磨区社会福祉協議会 相談室2
- ・内容 ボランティア基礎・ボランティアセンターの機能と役割
- ・受講者 5名

オ 傾聴ボランティア講座

よりよい人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルであり、さまざまなボランティア活動を行う上で役立つ「傾聴」について学ぶ機会を提供するために講座を開催した。

- ・開催日 令和5年1月30日（月）
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・内容 講義「あなたも聴き上手になれる！」体感しながら学ぶ講座
- ・講師 一般社団法人 ことばの道 代表理事 安居 道子氏
- ・受講者 46名

カ ボランティア交流会の開催

須磨区内の地域のつながりを促すために、ボランティア団体・個人ボランティア・つどいの場支援事業申請団体の交流を図り、顔の見える関係づくりを目的とし、コロナ禍での活動内容や活動者の変化を共有し、互いにフォローしたり、マッチングの場となるために開催した。


- ・開催日 令和5年2月17日（金）
- ・場所 須磨パティオホール
- ・内容 講師をファシリテーターとしてグループワーク、交流
- ・講師 夢こらぼ 主宰 松尾 やよい氏
- ・受講者 35名

キ 絵手紙ボランティア研修・交流会

講師によるレクチャーを受けながら作品の制作・講師講評・交流を行った

- ・開催日 令和5年12月9日(金)
- ・場所 須磨区役所 2階健康教育室
- ・内容 講師による絵手紙の研修を受けながらの作品制作。講師による講評、参加者同士の交流。
- ・受講者 20名

(6) ボランティア活動への支援

- ア 「須磨区ボランティアセンターだより」の発行
 須磨区ボランティアセンター登録ボランティアの活動がより充実することを目的に、活動報告や講座などの情報発信を行った。
- ・発行回数 年2回(7月・1月)
 - ・部数 各580部
- イ 「ボランティア紹介情報」の発行・更新
 出演ボランティアに限らず、活動先を募集しているボランティア、メンバー募集しているボランティア等広く掲載することとし、希望者を再募集し情報を更新した。また、随時、更新できるようにした。
- ウ 絵手紙ボランティア活動 
- 絵手紙ボランティア入門講座修了生等が、ひとりぐらし高齢者等(登録者246名)へ定期的に絵手紙を送る活動を実施した。緊急事態宣言中も在宅での活動を継続した他、区役所1階通路での展示を行い、来庁される区民にも紹介した。
- ・活動人数 40名
 がんばる気持ちを共有～プロジェクト 絵手紙とともに～の実施。
 - ・コロナワクチン接種・予約に来庁する区民に向け、絵手紙ボランティアのメッセージとともに、頑張る気持ちを共有していくため、作品展示を実施した。
 - ・場所 須磨区役所4階 ホワイエ部分
 - ・内容 絵手紙ボランティアグループ(一期一絵、ほほ絵み、そよかぜ、チューリップ)による絵手紙の展示

新規

エ ミニライブの開催

- ・開催日 令和4年11月21日(月)
- ・場所 KOBE 須磨きらくえん Fika 須磨の丘
- ・内容 コロナ禍で減っているボランティア団体・個人の活動を応援するため、活動の場所を提供するとともに、須磨区ボランティアセンターの広報活動に繋げる。
- ・出演者 須磨区ボランティアセンター登録ボランティアグループ 2団体
- ・観客 KOBE 須磨きらくえん Fika 須磨の丘 デイサービスご利用者様、サービス付き高齢者住宅ご入居者様他 約42名

(7) 須磨区地域活動支援コーナーの利用調整

須磨区役所3階に設置されている「地域活動支援コーナー」について、須磨区から貸室業務を受託し、登録している地域団体やボランティアグループ等の利用調整を行った。

- ・開設日時 月～金 9時～17時(12時～13時は除く) ※区役所開庁日
- ・利用件数 219件

7 相談・援助活動

(1) 心配ごと相談所の運営

須磨区民生委員児童委員協議会の地区会長が相談員となり、地域住民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、助言や各種制度や関係機関の紹介を行った。

- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室 2
- ・開設日時 毎月第1、3火曜日 (13時～15時)
- ・開設回数 20回
- ・相談員 26名 (各回2名)
- ・相談件数 8件

(2) 生活福祉資金貸付

低所得者や障がい者の経済的自立と、生活の安定を目的とした貸付を行った。貸付にあたっては、地域福祉ネットワークや神戸市「くらし支援窓口」との連携により、一体的な支援を行った。また、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に対し、令和2年3月25日より全国一斉に受付開始となった緊急小口資金及び総合支援資金の新型コロナウイルス特例貸付の受付を行った。また、同貸付は9回の延長の末、令和4年9月30日を以って受付を終了した。

ア 貸付総件数 63件 貸付総額 35,675,200円

※新型コロナウイルス特例貸付除く。

《内訳》

- ① 教育支援資金
 - ・貸付件数 56件 貸付金額 35,189,200円
- ② 福祉資金
 - ・貸付件数 4件 貸付金額 276,000円
- ③ 総合支援資金
 - ・貸付件数 0件 貸付金額 0円
- ④ 緊急小口資金
 - ・貸付件数 3件 貸付金額 210,000円

イ 新型コロナウイルス特例貸付総件数 1,297件 貸付総額 78,050,000円

- ① 緊急小口資金
 - ・貸付件数 118件 貸付金額 22,650,000円
- ② 総合支援資金
 - ・貸付件数 1,179件 貸付金額 55,400,000円

(3) 成年後見制度の利用手続き相談室の運営

市民後見人候補者による成年後見制度の概要及び利用手続き説明の窓口を開設した。

- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室 2
- ・開設日時 毎月第2火曜日 (13時半～15時半)
- ・開設回数 12回※電話相談日を除く
- ・相談件数 8件

(4) 車いすの貸出し

高齢や疾病などの理由により、一時的に車いすを必要とされる区民に対して車いすの貸出しを行った。

- ・延べ貸出し件数 254台 (本区 207台・きたすま障害者相談支援センター47台)

8 善意銀行の運営

広く区民から善意の預託を受けた金銭や物品などを管理し、必要に応じて地域福祉の推進のために払い出しを行った。

(1) 金銭

ア 預託	40 件	680,943 円
イ 払出	43 件	991,556 円

《払出内訳》

内 容	件数等	金 額
ひとりぐらし高齢者給食サービスグループ助成金	31 件	620,000 円
安心！終活セミナー開催経費	1 件	36,664 円
貸出車いす点検及び修繕費	2 件	18,892 円
車いす貸出事業委託費	1 件	36,000 円
公募助成こすもスマイル助成事業	8 件	280,000 円
合 計	43 件	991,556 円

(2) 物品

ア 預託	25 件 (切手、衣類、上干ちりめん等)
イ 払出	14 件 (区内福祉施設、ボランティア団体、こども食堂、生活困窮者等)

9 共同募金運動の推進

(1) 赤い羽根共同募金

地域団体や学校園等に協力いただき、共同募金の趣旨や役割について啓発強化を行いながら、10月から3月の間、募金運動に取り組んだ。また、「募金百貨店プロジェクト」を通じて、事業所や企業と連携した募金運動を行った。

募金運動期間 令和4年10月1日(土)～令和5年3月31日(金)

ア 募金実績額（一般、歳末、拡大期間1～3月） 5,684,822円

《募金種別内訳》

募金種別	実績額 (円)	概要
戸別募金	3,190,060	各地域団体（自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、ふれまち、民児協）の協力による戸別募金
街頭募金	433,991	10月～12月の街頭・イベント募金（実施回数14件）
法人募金	711,998	企業、事業所、商店街、医院、歯科医院、薬局等募金百貨店（期間拡大）
職域募金	497,180	バッジ、クオカード等資材募金
学校募金	460,278	区内幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高校、大学、専門学校
その他募金	391,315	個人、給食会、保育所、認定こども園、保育園、児童館・コーナー、官公庁、公共施設、公民館、ボランティアグループ、利息等
合計	5,684,822	


イ 募金百貨店プロジェクト 2件 7,796円

協力：①障害福祉サービス事業所こころわ

「寄付付きお弁当（カレー）」 3,276円

②ビューティサロンキミ キミ・ロイヤル板宿店

「サービスの代金の一部を寄付」 4,520円

ウ 地域配分額 2,505,790円（前年度募金実績額に応じた須磨区への配分）

共同募金を財源として、福祉啓発活動や須磨区内の各福祉関係団体等の活動に対して助成を行った。

《内訳》

高齢者福祉活動事業	159,359円（老人クラブ助成等）
障がい者（児）福祉活動事業	332,200円（障がい者団体への助成等）
児童・青少年福祉活動事業	818,090円（保護司会助成、子ども会助成等）
母子・父子福祉活動事業	150,880円（母子生活支援施設等）
福祉育成・援助活動事業	389,150円（施設の地域交流事業、防災備品等）
公募助成事業	656,111円（こすもスマイル助成、居場所づくりおたすけ助成）

(2) 歳末たすけあい募金

歳末の地域福祉施設や地域活動支援のため、共同募金とあわせて募金活動を実施し、助成を行った。

・配分金額 1,189,245円

《内訳》

ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ (28 グループ)	781,090 円
ひとりぐらし高齢者等友愛訪問グループ (112 グループ)	346,230 円
障がい者事業所 (6 か所)	61,925 円

(3) 福祉学習

赤い羽根共同募金における参画と協働を通じた「新たな助けあいの創造」を目指し、次代を担う児童・青少年に対し、募金運動を通じた福祉学習や街頭募金活動支援を行った。

- ・実施回数 5回 (神戸星城高等学校、兵庫県立友が丘高等学校、神戸市立落合児童館、神戸市立東須磨児童館、神戸市立高倉台児童館)

10 地域における公益的な取組

(1) 「神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会」への支援

須磨区の高齢・障がい・児童・保育等の社会福祉事業を運営する社会福祉法人が連携して地域福祉課題にアプローチし、地域社会への貢献をめざす、須磨区社会福祉法人連絡協議会 (愛称：ほっとかへんネット須磨) の運営を支援した。

- ア 役員会 3回
- イ コア実務者会 5回
- ウ 実務者会 3回 (①18名 ②19名 ③24名参加)
- エ 全体会 2回 (オンライン会議形式を併用)

総合相談窓口の実施に向けた事業「福祉なんでも相談窓口」

「福祉なんでも相談窓口」を加盟全法人に設置、地域での身近な相談窓口として受けた専門分野外の内容を含む相談を受ける体制の構築に取り組んだ。

- ・ステッカーや広報チラシの作成をし、窓口の周知を図った。
- ・職員向けマニュアルを作成し、実務者会で共有し相談を受ける体制づくりをした。
- ・実務者会で顔の見える関係を作り、他分野への相談しやすい環境づくりを模索した。

(2) 実習生の受入

福祉人材の育成への取り組みとして、社会福祉士相談援助実習の実習生を受け入れた。

- ・受入人数 2名